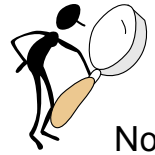




しりょうかんだより



No.4



きょうどしりょうかん とよたし れきし しょうかい てんじ
郷土資料館では豊田市の歴史を紹介する展示を行っていますが、そのほかにも、郷土の^{きょうど}ことについて調べた本や資料^{しりょう}がたくさんあります。遺跡^{いせき}や昔のくらし、おまつりなど、あなたの^{まわ}周りのことについて調べてみませんか。あなたの知らなかったことがたくさん見つかるかもしれません。資料館^{しりょうかん}のおにいさん、おねえさんがお手伝いします。



とよたのれきし(古代2)

(1,300年から800年くらい前の話)

いま 今から1,300年くらい前、国に律令^{ほりつ}という法律ができ、土地は国のものと決められました。農民^{のうみん}は国から農地^{のうち}を借りるかわりに、年貢^{ねんぐ}や労働^{ろうどう}などの負担^{ふたん}を義務^{ぎむ}づけられました。

ところが、だんだん農民^{のうみん}に貸し出す農地^{のうち}が不足してきたため、国は自分で開墾^{かいこん}した農地^{のうち}を自分のものにすることを認めました。このため、地方の豪族^{ごうぞく}や有力な農民は、広い土地を所有するようになりました。



長田氏名残りの長田川(司町)

こうして、とよたしいきない 豊田市域内にもいくつかの^{しょうえん}荘園ができました。なかでも、高橋氏がつくった高橋荘は、やがて高橋から^{ころも}拳母、^{いしの}石野、^{さなげ}猿投、^{ほみ}保見、^{みよし}三好方面まで所有するほどになりました。

しかし、平安末期になると源氏^{げんじ}と平氏^{へいし}の勢力争い^{せいりよくあらそ}に巻き込まれ、高橋荘の領主は、^{たかはし}高橋氏から^{おさだし}長田氏、^{おのし}小野氏と替わっていきました。

きせつのはなし —お月見—

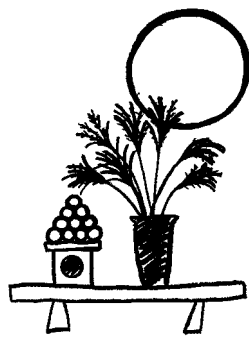
お月見もおまつりなの？

あなたのうちではお月見をしましたか？

この頃は、まんまるのお月さまも、街のあかりに照らされて、ちょっとは
ずかしがっているかもしれませんね。

旧暦 8月15日夜の十五夜には、ススキやハギ、オミナエシなどの秋草を
飾り、果物や団子をお月さまにお供えします。月見は中国で始まったもので、
十五夜の満月は中秋の名月といい、日本では、文徳天皇の時代に観月が行わ
れていたといわれるので、1,200年以上も続く風習です。

もともと十五夜は、満月を觀賞するというよりも、お月さまに初秋の



収穫物をお供えし、収穫を感謝するお祭りなのです。

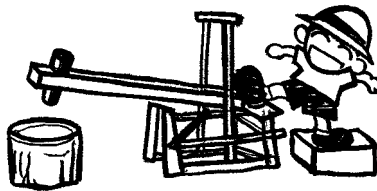
地域によっては、月見団子のほかに、サトイモやサツマ
イモ・豆・栗などをお供えします。

昔から片月見はするものではないといわれています。

これは、旧8月15日夜に月見をしたら、旧暦9月13日夜
にも必ず月見をしなくてはならないということです。

民具
M I N G U

台唐(だいがら)



台唐は、精米用の唐臼で、大唐臼ともいわれています。
テコの原理を使い、柄の端を足で踏むことで、臼に入れた
玄米を杵で搗き、精米します。臼は木製のものと石製のも
のがあります。

川のあるところでは、足で踏むかわりに、水車を利用す
ることもありました。

体験してみよう

郷土資料館の庭にある民俗資料館
には、みなさんが触れたり、体験で
きる民具もあります。
台唐を踏んで、昔の精米を体験し
てみてください。

しりょうかんだより No.3

平成13年9月28日発行

編集・発行 豊田市郷土資料館
〒471 0079 豊田市陣中町1 21
でんわ 0565 32 6561

郷土資料館では、みなさんが住む豊田市の
歴史を紹介したり、大事な資料を集めたり、
遺跡の発掘調査などを行っています。